

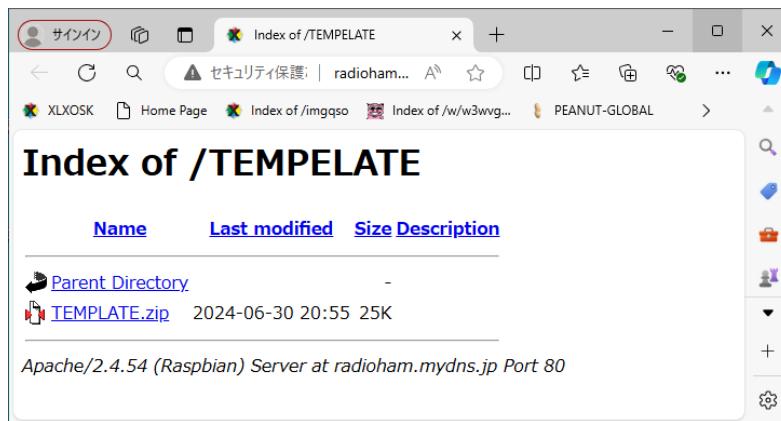
Controller GMSK 用 HTML テンプレート作成体験

Shu JA3GQJ

JQ1HDR 大和さんの Controller GMSK ver 06B June 2024 の豊富なマクロを利用して HTML のテンプレートの作成を体験したのでそのメモを PDF ファイルにまとめておく。テンプレートはインターネットで公開されているソースコードを画像交換 QSO 用にカスタマイズした。その圧縮ファイルをファイル名「TEMPLATE.zip」でウェブページにアップしておく。

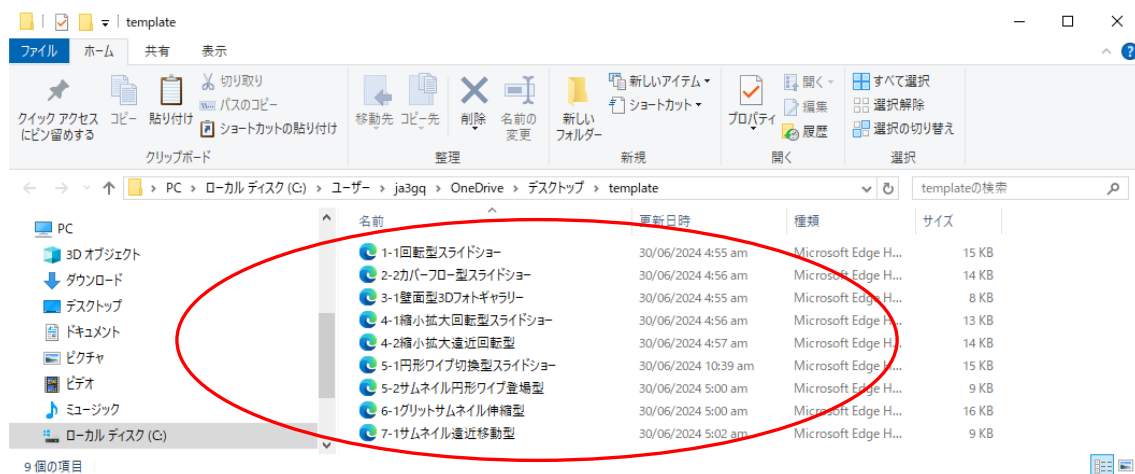
テンプレートの保存先

1. [ココをクリック](#)したら何方でも圧縮ファイル「TEMPLATE.zip」をダウンロードできる (図 1)。



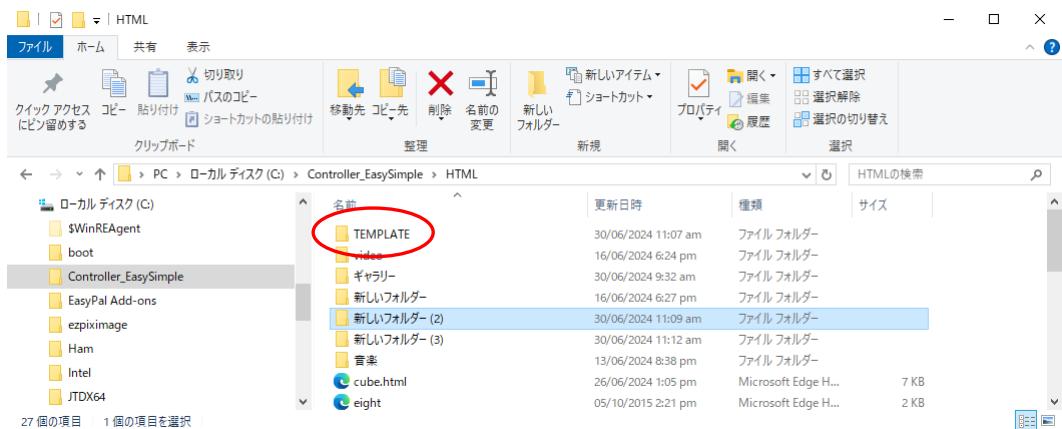
(図 1)

2. ダウンロードした圧縮ファイルを解凍する。→ 9 種類の HTML テンプレートファイルが生成された (図 2)。



(図 2)

3. そのテンプレートファイルを C:\¥Controller_EasySimple¥HTML¥TEMPLATE に保存した (図 3)。(TEMPLATE フォルダ-はデフォルトとして新規作成)



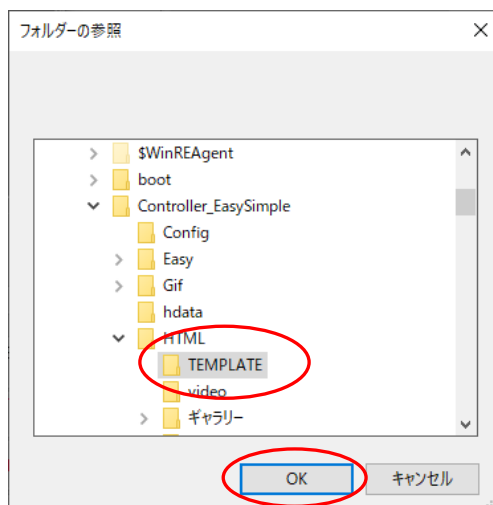
(図 3)

4. Controller GMSK を起動する。→ HTML/Video タグを選択する (図 4)。



(図 4)

5. テンプレートを保存する三つのフォルダーの「デフォルト」(図 4-A) を選択して → 「Set」ボタン (図 4-B) をクリックしたら → フォルダーリスト (図 5) がポップアップしたので、→ リストから「TEPLATE」フォルダーを選択して、→ 「OK」ボタンをクリックした。



(図 5)

6. 空白であった「テンプレート」フレームにテンプレートのリストが表示された (図 6)。



(図 6)

テンプレートの概要

一例として Controller GMSK の HTML/Video タグのテンプレートリスト (3 ページ図 6) から「回転型スライドショー.html」を選択して、→ 文字が赤い「HTML マクロ」ボタンをクリックしたら、→ 送信用画像 (図 7) がポップアップした。



1. HTML の記述でマクロ<FREQ>を使用したので、Controller GMSK の「Setting」タグで選択した運用周波数がタイトルの数字 7.172 になった。Peanut を選択したら Peanut になり、運用周波数に手書きで DISCODE を入力したら DISCODE になった。

2. 日付の表示は該当箇所にマクロ

<DATE>を記述する。Controller GMSK の「Setting」タグの「マクロ時刻」にチェックを入れなければ日本時間、

チェックを入れたら UTC で表示される。表示文字の「日本時間」はマクロに無関係なので「マクロ時刻」にチェックを入れたときは削除する必要があった。

3. マクロで<IMAGE 1>から<IMAGE24>と記述して 24 枚の受信画像のサムネイルを表示した。24 枚の受信画像のサムネイルにマクロ<HISDATA 1>から HISDATA24>を使って該当する画像に送信者のデータを付与した。

4. 受信時間が近い順に 6 枚の画像を回転させている部分がマクロ<IMAGE 1>から<IMAGE6>を使ってインターネットのソースコードをカスタマイズした所である。

5. BGM のマクロの<MP3>が、「HTML マクロ」ボタンで JA3GQJ.mp3 のファイルがある ftp サーバーの URL に正しく変換されていても、ETC/Server タグの「終了時サーバー画像の消し方」で「すべて」(図 8) を選択して Controller GMSK を再起動

して先に転送したすべてのファイルをすべて消しても、新しく転送した mp3 ファイルが有効にならない。(最初に転送した mp3 ファイルが何処かに残っているのか最初のファイルしか演奏されない。) 原因不明。

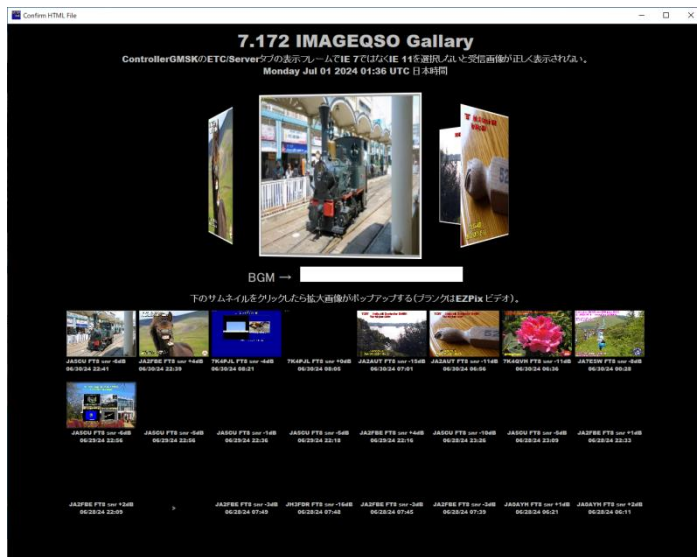
テンプレートを使った QSO

Controller GMSK の「HTML/Video」タグを選択。 → 「テンプレート」フレームでファイルを選択 (図 9-A)。 → 赤い文字の「HTML マクロ」ボタン (図 9-B) をクリックする。 → HTML に記述したマクロが有効になって「HTML マクロ」ボタンの文字の色が青に変わる。 → 送信できる状態の画面 (図 10) がポップアップする。 → しばらくしたら画像が消える。 → 6 ページへ



(図 9)

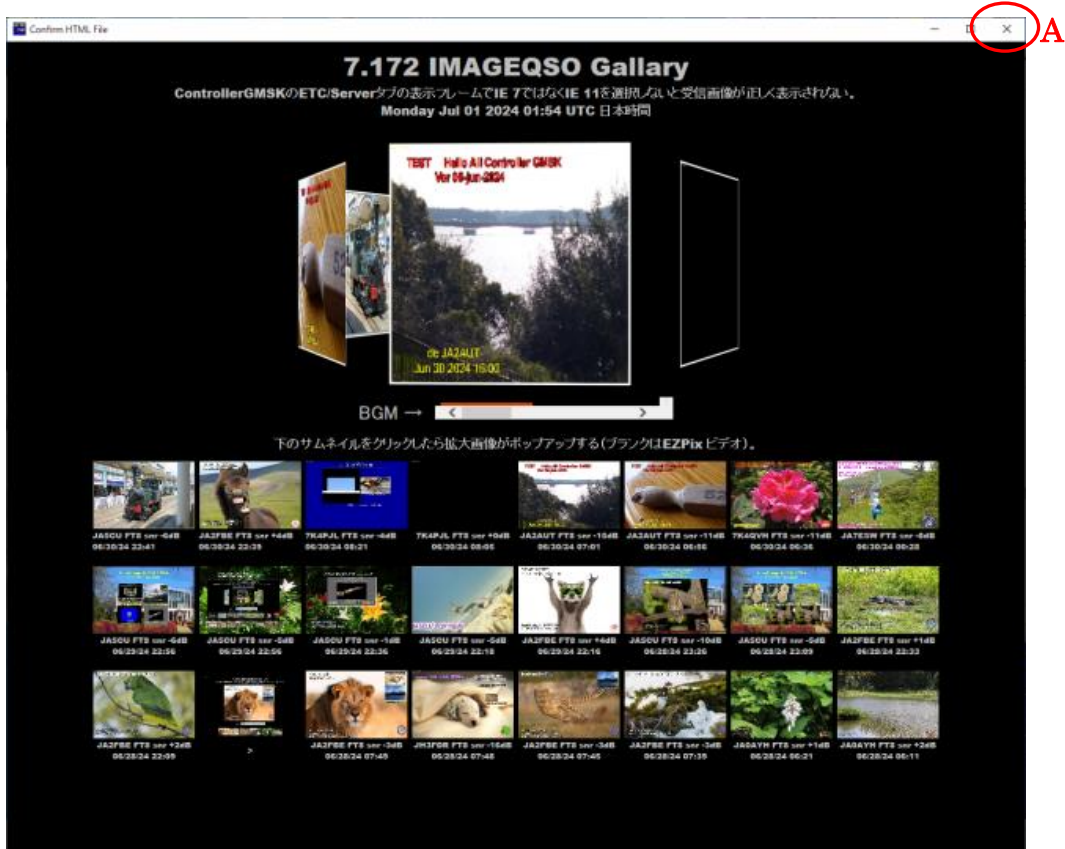
→ 赤い文字の「転送 FT8」ボタン (図 9-C) をクリックする。 → 赤い文字の「転送 FT8」ボタン、「HTML チェック」ボタン及び「TX HTML」ボタンの文字の色が青 (図 11-A,B,C) に変わって転送が終了した事を示す。 → 送信画像の確認をする為「HTML チェック」ボタンをクリックする。 → 再び、送信できる状態の画面 (図 12) がポップアップする。 → 間違いないければ「X」 (図 12-A) で画面を閉じる。 →



(図 10)

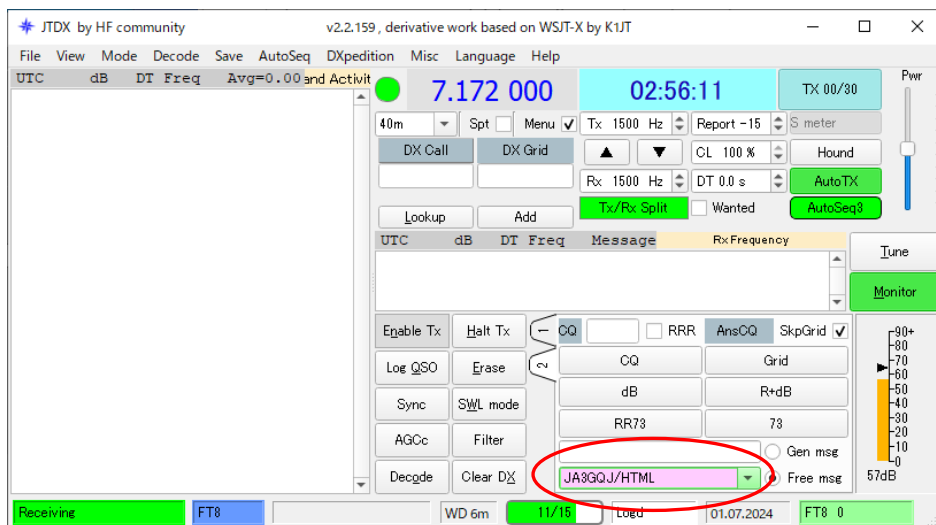


(図 11)

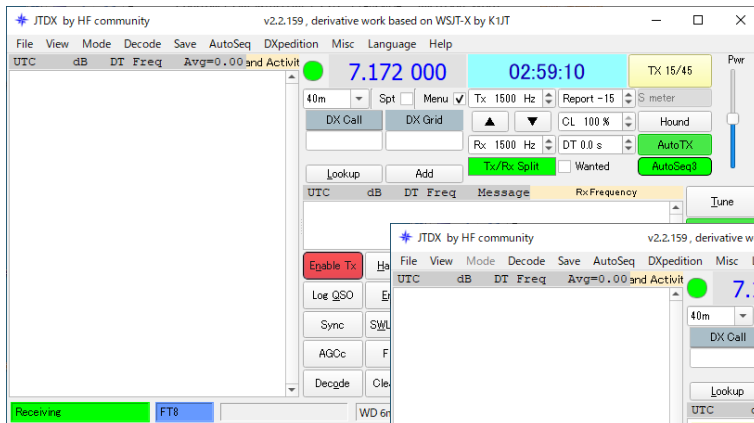


(図 12)

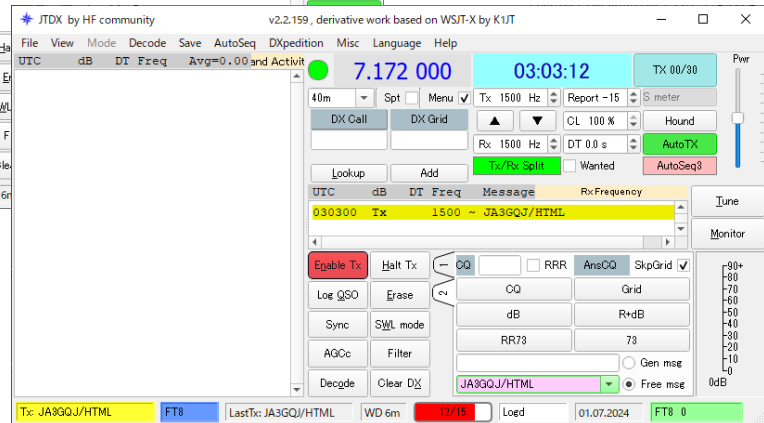
「JTDX」のマクロ設定が「JA3GQJ/HTML」(図 13)になっていることを確認する。 → Controller GMSK の「TX HTML」ボタンをクリックする。 → JTDX の「Enable Tx」ボタン(図 14)が押されて(有効になって)時間が来れば送信(図 15)が始まる。 → JTDX の送信終了は「Halt Tx」ボタンが有効になった時点で自動的に停止する。 → 送信の強制終了は Controller GMSK の「Halt」ボタンをクリックする。



(図 13)



(図 14)



(図 15)

テンプレートのソースコード

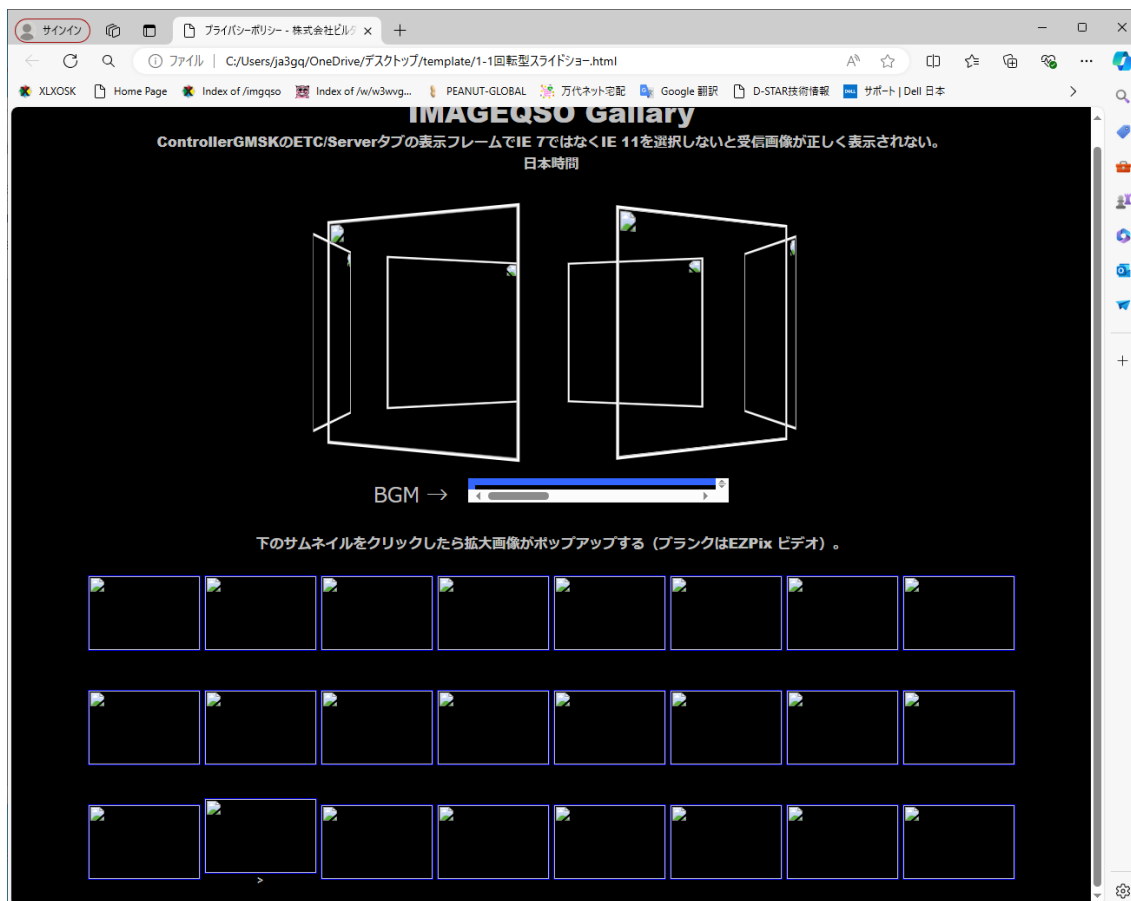
「HTML マクロ」 ボタンをクリック → ポップアップする画面を右クリック → さらにポップアップする別の画面の「ページの表示」(図 16) を選択クリックしたら → HTML テンプレートのソースコードが表示された。



(図 16)

Controller GMSK の HTML/Video タグを使わない時

HTML/Video タグを使わず html テンプレートを、例えばデスクトップに置いて起動 → マクロ記述の部分は当然の事ながらマクロが機能していないので全て空白（図 17）で表示された。



(図 17)

利用できるテンプレートの種類

インターネットのソースコードと同じファイル名で次の 9 種類のカスタマイズを体験した。

- ① 回転型スライドショー.html
- ② カーブフロー型スライドショー.html
- ③ 壁面型 D フォトギャラリー.html
- ④ 縮小拡大回転型スライドショー.html
- ⑤ 縮小拡大遠近回転型.html
- ⑥ 円形ワイプ切り替型スライドショー.html
- ⑦ サムネイル円形ワイプ登場型.html
- ⑧ グリッドサムネイル伸縮型.html
- ⑨ サムネイル遠近移動型.html

残りの 8 種類のテンプレートの概要は省略

前述の「回転型スライドショー.html」テンプレートの概要が参考になるので省略する。

このメモは Controller GMSK ver 06B June 2024 の設定が正しく行われ問題なくソフト

が稼働することを前提したものである。

JQ1HDR 大和さんのウェブページの記事を熟読することが大切であることを改めて実感した。

マクロの使い方が理解出来た事は大きな収穫である。

81歳の老体で物忘れがひどいので別紙PDF「ControllerGMSKver06BJun2024 体験記」があることもここで記録しておく。

今回は受信画像用のテンプレートのみを扱ったが今後時間があれば送信画像を扱うテンプレート作成を体験したい。

As of July 1, 2024